



僕の名前は「だよりん」で〜す。

支援連携だより R5・創刊号
令和5年 9月 日
小田原支援学校 支援連携部
題字: 高 A2年生徒作品

2学期がスタートして一か月、皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。支援連携だより「だよりん」は、おもに進路支援、地域連携、自立活動に関する情報を中心にいろいろな役立つ情報を発信していきます。よろしくお願いたします。

支援連携部は何しているの？

支援連携部

部長



おだようらぶきゃら
おだエモン

小田原支援学校では、支援連携部を中心に学校の内外と連携して様々な支援を行っています。

『相談支援係』

校内や県西地区の幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校の相談支援をする係です。居住地交流や学校へ行こう週間等も担当します。

教育相談コーディネーター

『進路支援係』

学校から社会への橋渡しをする係です。よりよい進路決定をするために担任と力を合わせて支援します。

進路支援担当

『自立活動係』

子どもたち個々の課題をいろいろと考える係です。児童・生徒・保護者・先生方からの、専門職（OT、ST、リハ科 Dr 等）への相談等を担当します。

臨床心理士・理学療法士

『交流係』

地域と学校の交流を進めていく係です。ボランティア募集や地域での作品展示会、学校間交流等を担当します。

支援連携部: 三輪和子(みわ かずこ)

相談支援係: 唐牛恵梨(かろうじ えり) 教育相談コーディネーター
梶山繭子(かじやま まゆこ) 教育相談コーディネーター
石原尚美(いしはら なおみ) 教育相談コーディネーター※1

自立活動係: 宇佐見大輔(うさみ だいすけ) 臨床心理士
小玉美津子(こだま みつこ) 理学療法士(PT)

進路支援係: 新谷一成(しんたに かずなり) 進路支援担当
萩原かおり(はぎわら かおり) 進路支援担当
山口敦之(やまぐち あつし) 進路支援担当
井上雅規(いのうえ まさき) 進路支援担当<大井分教室>
石原尚美(いしはら なおみ) 進路支援担当

<湯河原校舎>※1 兼務

今年度も校内の担任の先生方や地域の学校と協力連携して、児童・生徒のみなさんが楽しく学校生活を送れるよう努めていきます。どうぞお気軽に声をかけてください。
支援連携部 三輪

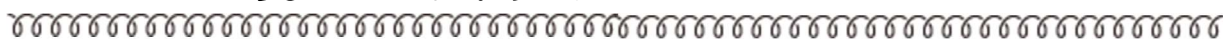


うめちゃん ともちゃん



おだようらぶきゃら
ユノシ

夏の公開研修会がおこなわれました。



7月25日(火) 子ども部会

テーマ「地域ですすめるインクルーシブ」

小田原市・箱根町・真鶴町・湯河原町地域障害者自立支援協議会
子ども部会との共催で開催されました。



7月26日(水)

講座Ⅰ「小田原支援学校での学びと小学校・中学校に戻っての実践」

講師 田中 伸幸氏(小田原市立三の丸小学校)

原田 和氏(松田町立松田中学校)

講座Ⅱ「人的交流による研究、新たなセンター的機能を探る」

講師 北邨 恵順氏(えびな支援学校)



7月27日(木)

講座「インクルーシブ教育を進めるために～私たちが取り組むこと～」

講師 中村 信雄氏(東京理科大学教育支援機構教育センター講師)



今年度は「インクルーシブ教育」をテーマとして3日間の公開研修会を実施し、学びを深めることができました。小田原支援学校では、かながわの特別支援教育の推進へ向け、今年度から令和7年度の3年間で、「人的交流による研究」の研究指定校として小田原市立足柄小学校と協力し、インクルーシブ教育へ向けての新たなセンター的機能の在り方の研究を進めていきます。今後、インクルーシブの取り組みについて「だよりん」で発信していきます。



自作教材展

7月25日～7月27日まで自作教材展がおこなわれました。その時展示された教材の一部を紹介します。



「ティンパニロールマシン」
スーパーボールを流し入れて音の振動を目で見えて感じることができます。バチなしで演奏できます。



「主体的に取り組める教材棚」
番号を見て自分の手で棚からだし、終了の報告ができるような環境設定ができます。



「言葉と漢字のマッチング教材」
反復することで文字が覚えられます。個別学習や自立課題として使います。